

## 令和5年9月議会定例会 町長あいさつ

皆さん、おはようございます。

本日は、令和5年第5回となります9月定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご多用の中ご出席いただき、また、高垣代表監査委員には、決算審査意見書の報告のため、ご出席をいただいております。誠にありがとうございます。

本定例会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年の夏は、梅雨明け以降、連日35度を超える記録的猛暑日が続き、8月に入ると台風6号、7号がたて続けに襲来しました。特に近畿や中国地方を縦断した台風7号は、広い範囲で影響をもたらし、各地に被害の爪痕を残しました。隣接する関市では、津保川上流域で1時間に100ミリを超える猛烈な降雨により、水位が急激に上昇し、避難判断水位に達したため、町内においては西公民館に避難所を開設するとともに、消防団の協力のもと河川等の警戒にあたりました。

幸いにして、氾濫までに至らず、町内に大きな被害はでませんでした。被災された地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

近年は雨の降り方が変化しており、全国各地で頻発する豪雨災害に対して、益々警戒を強めていかなければなりません。

過去を振り返りますと、当町が未曾有の被害を受けた平成4年の8.11災害から、31年が経過しておりますが、決して忘れてはいけない記憶と教訓として、後世に引き継いでいくことが災害を経験した我々の責務であると思っています。

こうした中、去る8月22日には、株式会社ORIBE様と「災害時における施設利用に関する協定」を締結することができました。

この協定は、地震や風水害等により停電が発生した場合において、同社所有の施設で蓄電する電力を町民のためにご提供いただく他、施設及び設備等についても一時宿泊所として可能な限り、無償で利用させていただくといった内容のものでございます。本協定の締結にあたっては、同社よりご提案をいただいたもので、大変感謝申し上げますとともに、この協定を契機に防災に関する機運が高まり、関係各位へと繋がっていくことを期待しているところでございます。

また、新型コロナの関係につきましては、感染症法の位置付けが5類相当へ移行後、緩やかに地域経済が回復し、コロナ前の水準に戻りつつあると感じておりますが、引き続き気を緩めることなく、今年度下半期に予定する総合防災訓練や町民まつり・成人式などについて、実施に向けた準備に取り掛かかっているところでございます。

国外に目を転じますと、ウクライナ情勢は未だに収束に向かっているとは言い

難く、日本のエネルギー問題などにも大きな影を落とし、ガソリン価格が過去最高値<sup>さいたかね</sup>を更新するなど、物価高騰が私たちの生活に大きな影響を与えています。

こうした状況下での支援策として、国の臨時交付金を活用した事業に取り組んでおり、一人3千円分の『とみか元気振興券（その5）』につきましては、8月下旬までに各世帯への配布を完了したところです。この様な施策が少しでも町民の皆様の家計の一助となり、合わせて地域経済の振興に繋がればと期待しているところです。

さて、今年度も上半期が経過し、予定する事業は順調に進捗しております。

主なハード事業では、平成28年度から推進する町道川浦川左岸線整備事業の町施行分においては、今年度末の事業完成をめざして道路及び駐車場・トイレ工事に着手したところでございます。また、議会の皆様をはじめ地域の方からも長年に渡りご心配をいただいております下羽生地内の町道滝田八反田線の通学路歩道整備事業については、地権者の方のおおむねのご理解が得られましたことから、今議会において関連する補正予算を計上させていただいております。

次に、ソフト事業では、新たに滝田地内において『いちご農家』として、町内在住の女性の方が就農され、施設が8月末に完了したことから、今後、富加の農業の担い手として大変期待をしております。また、名古屋市内にある金城学院大学との移住・定住施策に関する包括的連携協定を締結し、『若者目線でまちづくりを考える』取り組みを新たな視点でスタートいたしました。

では、今議会に提案いたします案件でございますが、はじめに、人事案件として、固定資産評価審査委員の選任同意が1件、教育委員の任命同意が1件、その他に、専決処分の承認が2件、町条例の制定が1件、町条例の一部改正が3件、証明書の交付等に係る事務委託の廃止が9件、令和5年度一般会計及び特別会計の補正予算が4件、令和4年度一般会計、特別会計及び上下水道事業会計の決算認定が6件、報告案件が2件となっており、合計29件でございます。

はじめに、人事案件では、固定資産評価審査委員につきましては、8期24年に渡り直井均<sup>ひとし</sup>さんをお願いしておりますが、9月末をもって任期満了となりますことから、大竹頼人<sup>よりひと</sup>さんを選任し、議会の同意をお願いするものでございます。また、教育委員につきましては、2期8年お勤めいただいております大野裕司<sup>ゆうじ</sup>さんの任期が、同じく9月末日をもって満了となりますことから、新たに井戸直美<sup>なおみ</sup>さんを任命し、議会の同意をお願いするものです。

次に、専決処分の承認2案件につきましては、一般会計補正予算として、6月29日には、国の臨時交付金を活用する学校教材費等支援補助金261万円の増額を、また、7月6日に夕田地内町道法面復旧工事及び大平賀地内農業用水頭首工修繕工事に関する費用1千10万3千円の増額を専決いたしましたので、その承認を求めるものでございます。

次に、条例の制定につきましては、災害対策基本法の規定に基づき、新たに富加町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例を定めるものでございます。

次に、条例の一部改正につきましては、

富加町職員定数条例では、定員適正化計画の見直しに伴い、職員定数等について、所要の改正を行うものです。

富加町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に係る基準を定める条例では、国が規定する内容の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

富加町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例においても、同じく国が規定する基準が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものでございます。

次に、富加町と可茂管内各市町村との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止については、現在、可茂管内で実施している各種証明書の広域交付事業について、コンビニ交付サービスの普及等により、全国で一層取得しやすくなっていることなどから、廃止することについて議会の議決を求めるものでございます。

次に、令和5年度一般会計補正予算（第5号）につきましては、2千82万8千円の追加をお願いしております。

主なものとして、歳入では、普通交付税の額確定に伴う地方交付税の増額をする一方、臨時財政対策債発行可能額の決定に伴う町債の減額や、岐阜県清流の国ぎふ推進補助金など、新たな財源確保に伴い基金からの繰入金を減額しております。

歳出では、人事異動による人件費の組み替えの他、町道滝田八反田線歩道整備事業に伴う用地費及び工事費等や、食材費の高騰に伴う美濃加茂市学校給食センター負担金など、いずれも必要な費用の追加をお願いしております。

この他、議員各位からご提案をいただきました『とみか元気米配布事業（その3）』に係る事業費及び<sup>たいしょうほうしん</sup>帯状疱疹ワクチン接種費の助成につきましても、関連する事業費を計上させていただいております。

また、一般会計のほか、国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の特別会計の補正予算もお願いしておりますので、よろしくお願いたします。

次に、令和4年度決算認定につきましては、一般会計及び国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の特別会計のほか、水道及び下水道事業会計の認定をお願いしております。

一般会計決算額は、歳入で約 33 億 8,600 万円（前年比 7.6%減）、歳出では約 32 億 3,900 万円（前年比 6.5%減）となりました。

歳入の主な減額要因は、新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金等の減少によるものの他、国庫支出金の減少と、臨時財政対策債の借入額が減少したことによるもので、歳出の主な減額要因は、社会資本整備総合交付金事業費の減少や財政調整基金への積立額の減少によるものでございます。

なお、今定例会に上程いたしました決算につきましては、決算審査に付し、監査委員さんより意見書を頂いておりますので、その写しを決算書と併せて提出させていただきます。

以上、本議会に提案いたします議案の概要についての説明と、今定例会にあたりましてのあいさつとさせていただきますが、詳細につきましてはそれぞれ担当課長からご説明いたしますので、慎重審議をいただき、ご決定いただきますようお願いを申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。